

## 平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【米国大学等との協働教育の創成支援】

大学名	筑波大学
構想名称	人社系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム
相手大学等名 (国名)	ボン大学（ドイツ）、ベルリン自由大学（ドイツ）、リュブリャナ大学（スロベニア）、フランシュコンテ大学（フランス）、モスクワ市立教育大学（ロシア）、カ・フォスカリ（ヴェネツィア）大学（イタリア）、高麗大学校（韓国）、

### 【構想の目的及び概要】

#### 1. 目的

本事業は「現代日本社会からの発信」をテーマに日欧および韓国の大学間パートナーシップを強化し、日欧の成熟社会の持続的発展と東アジアの安定に貢献できる次世代のグローバルリーダー人材養成のための東アジア・欧州協働教育プログラムを構築する。

欧州に続いて日本は成熟社会を迎え、アジアにおける民主主義国家として欧州とともに解決すべき新たな問題を共有している。「現代日本」から発信される問題（アジア型民主主義、市民社会、家族、文化とアイデンティティ等）に取り組むことは、欧州社会をより深く認識しつつ、明日の東アジアの問題に取り組むことに他ならない。本事業は、欧州と東アジアが独自の文化と歴史と価値観を深く認め合い、かつその違いを乗り越えて共生するための社会実現を目指すものである。

#### 2. 概要

「現代日本社会」が発する文化と社会問題に対して、欧州と東アジアの複眼的視野を持ち、未来を志向する日欧韓協働教育プログラム<TRANS (TRANS europe-east asia education program)>を提唱する。一貫したテーマは社会の基盤となる人々の「アイデンティティ」であり、それを通じて文化と社会の在り方を学士課程から博士課程まで各課程のレベルに合わせて考えるプログラムである。本事業により日欧韓の学生の流動性を活性化し、国際社会の中で学生が、①自らのアイデンティティをメッセージとして発信し、議論する表現力、②異なる価値観をまとめる先導力、③東アジア・欧州が協働して問題解決に取り組む国際協調力、④専門知識と国際比較の視野を持ち、現場で活躍するための行動力を総合的に涵養する。

学士課程では世界における日本文化・社会の特色を発信し、交流するスキルを鍛える「日本語・日本文化コミュニケーション養成プログラム」を実施し、日欧協働で国際交渉力の基礎を確立する。それを基盤として、大学院修士（博士前期）課程においては、国際協調力の涵養を重点化し、人文社会科学研究科とボン大学（ドイツ）・高麗大学校（韓国）による「日独韓共同学位（デュアルディグリー）プログラム」を実施し、東アジアと欧州の複眼的視野を持ち、異なるアイデンティティを評価できる人材を養成する。その上に立って、大学院博士（前期・後期）課程においては、「現代日本」の問題に国際比較の視野から取り組み、問題解決の提案ができるグローバルリーダー人材を養成するために、人文社会科学研究科とドイツ・フランス・スロベニアの諸大学並びにドイツ学術交流会（DAAD）、高麗大学校とで「現代日本国際比較研究教育プログラム」を実施する。以上の取り組みにより、韓国の大学の協力を仰ぎながら、欧州と日本の高等教育パートナーシップの強化を図り、国際的通用性の高い次世代の人材を養成する。

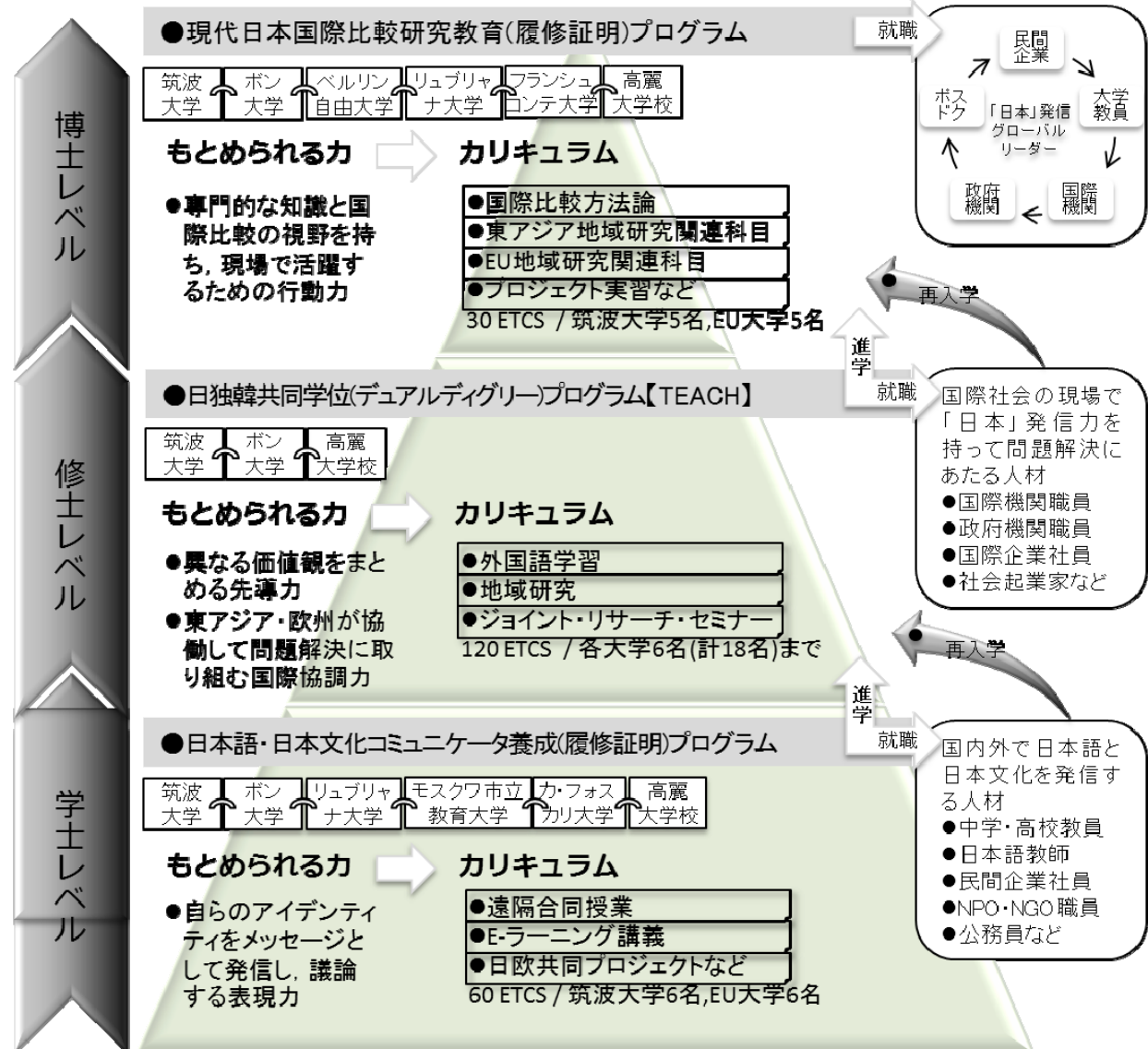
本事業はパートナーとなる大学に特色がある。ベルリン自由大学・ボン大学（ドイツ）、フランシュコンテ大学（フランス）、リュブリャナ大学（スロベニア）、カ・フォスカリ（ヴェネツィア）大学（イタリア）は西欧・東欧・南東欧の人文社会科学の拠点の大学であり、その交流は日本人学生の国際的視野を飛躍的に拡大するものである。欧州学生の受け皿としての筑波大学は留学生のためのキャンパスの国際化（グローバル 30、日本語・日本事情遠隔教育拠点）、欧州事務所の機能強化、研究分野を横断する異分野融合型教育（国際交渉力強化プログラム）、日欧学術ネットワーク（頭脳循環加速化プログラム）など組織の壁を越えた国際的異分野融合教育研究改革を推進しており、世界に開かれた学びの場を提供することができる。

本事業により修得された能力は、学士課程「日本語・日本文化コミュニケーション養成プログラム」修了者は日本語・日本文化を世界に向けて発信する日本語教師、文化事業関連企業社員、修士課程「日独韓共同学位プログラム」の修了者は欧州と東アジアで「日本」発信力を持って活躍できる国際機関職員、政府機関職員、国際企業社員、博士（前期・後期）課程「現代日本国際比較研究プログラム」修了者は国際リーダーとしての研究者、国際機関幹部職員、企業アナリスト等に道を拓くものである。

[構想の概念図]

次世代のグローバルリーダー ↔ 欧州と東アジアの共生  
世界に開かれた学びの場

**東アジア・欧州協働教育推進プログラム**



平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	筑波大学
タ イ プ	B-II
構 想 名	人社系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム

〔評価コメント〕

全学的な支援体制を十分に議論したうえで、学士・修士・博士の各課程にグローバル人材養成のためのプログラムを導入する新規性の高い構想である。これまでの実績を踏まえ、日韓独の連携に着目している点もユニークで興味深い。

日韓独共同学位（修士）プログラムで二つの修士論文を作成する計画となっているが、各国における教授言語、および論文作成に必要な外国語能力（特にアカデミックライティング）の基準とその達成方法について、さらに検討することにより、本事業の目標達成が期待される。